

令和7年度 長谷川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	3	33	33	26.2	28.9
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	501
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 長谷川中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 全国と比較して、「書くこと」の領域において全国、大阪府を大きく下回る結果であった。

＜数学＞ 全国と比較して、「数と式」の領域において全国、大阪府を大きく下回る結果であった。特に、「表現すること」「記述式」の領域では無回答率が高く、問題から読み取る力や数学的な言葉で説明することが身についていないといえる。

＜理科＞ 全国、大阪府を上回る平均正答率であり、基礎的な知識が身についていると言える。また、それらを活用する思考力・判断力が一定程度身についているといえる。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞ 授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善に向けた取組として、考えたことを整理し、組み立てる活動を行う。

＜数学＞ 特に「数と式」「関数」の領域における利用の課題で、数学的な考えの取り入れ方や表現することを、生徒同士で伝え合う活動を行う。

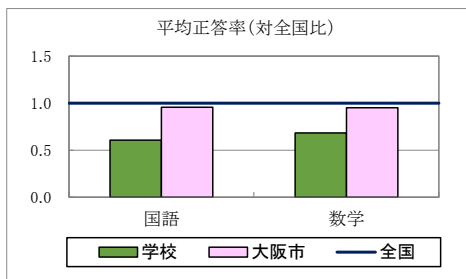
＜理科＞ 生徒同士で考察を共有させたり、新たな考察の手立てとなるように教師から助言をする。実験・観察では、考察の妥当性を検討しあう中で、ICT機器等を使用し、生徒自身の言葉で説明ができるよう取り組む。

令和7年度 長谷川中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

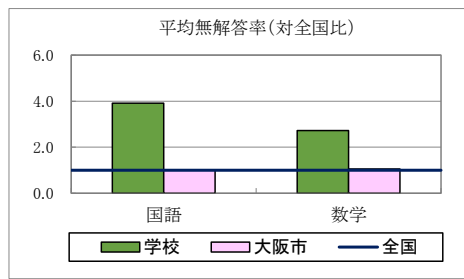
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	33	33
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

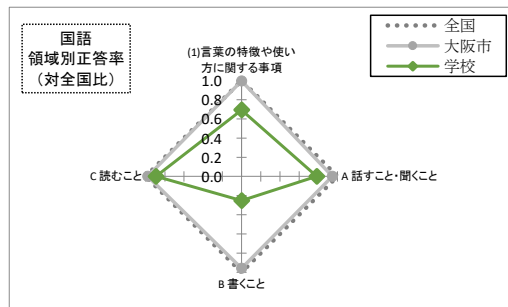
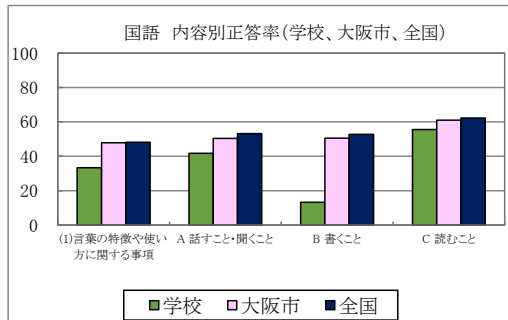


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	26.2	28.9
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



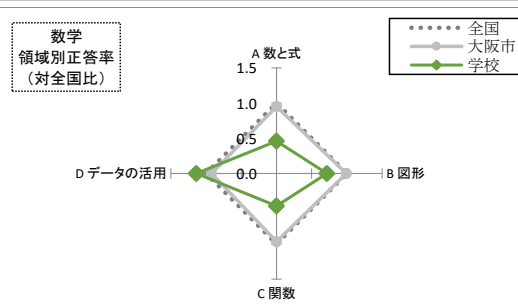
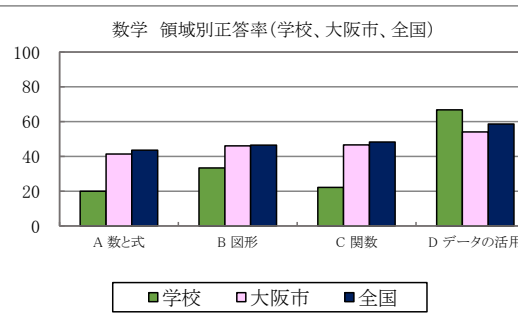
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	33.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	41.7	50.4	53.2
B 書くこと	5	13.3	50.6	52.8
C 読むこと	3	55.6	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	20.0	41.4	43.5
B 図形	4	33.3	46.1	46.5
C 関数	3	22.2	46.6	48.2
D データの活用	3	66.7	54.0	58.6

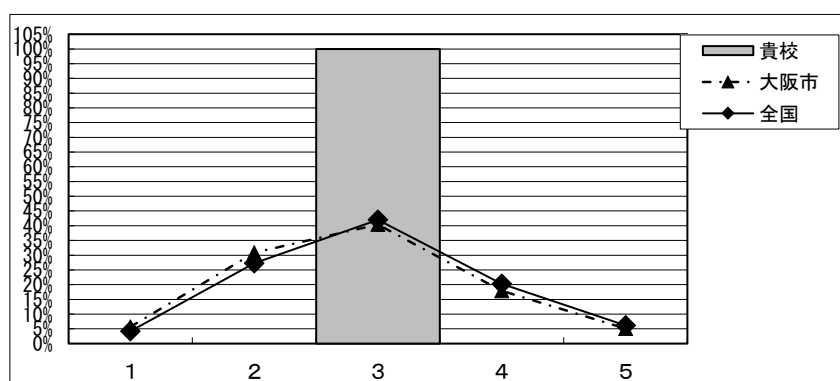
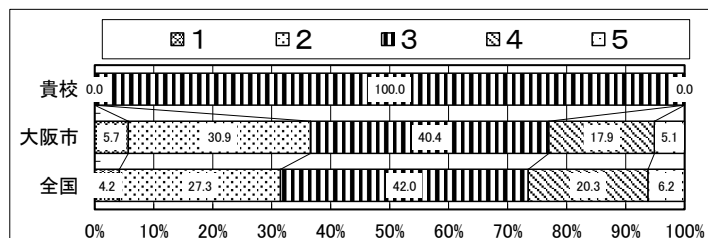


令和7年度 長谷川中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	501
大阪市	489
全国	503



令和7年度 長谷川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

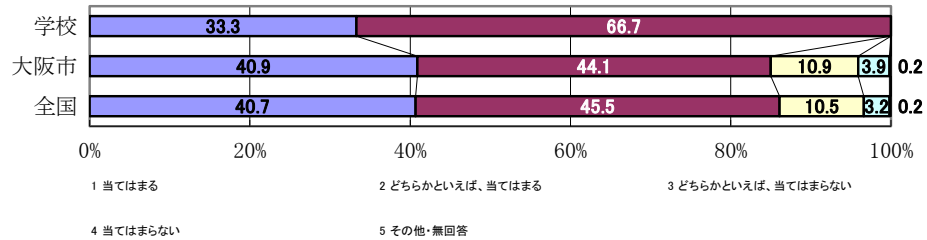
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

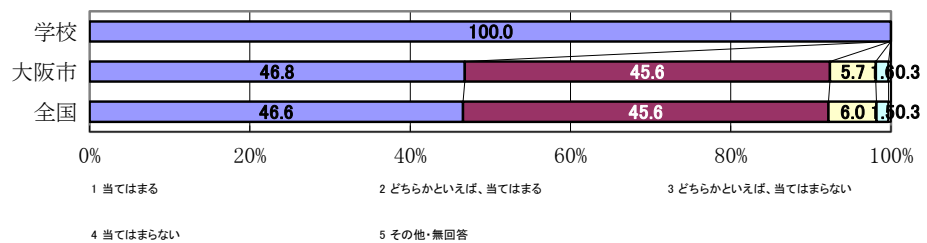
5

自分には、よいところがあると思いますか



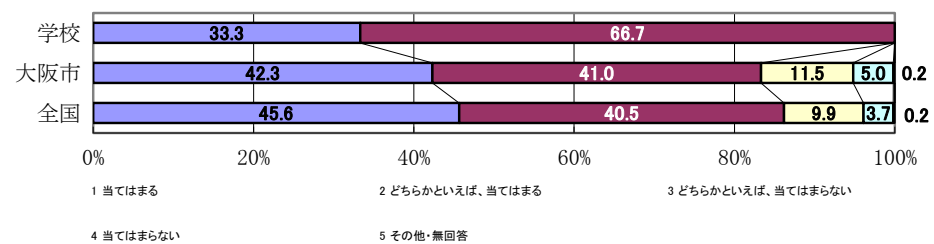
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



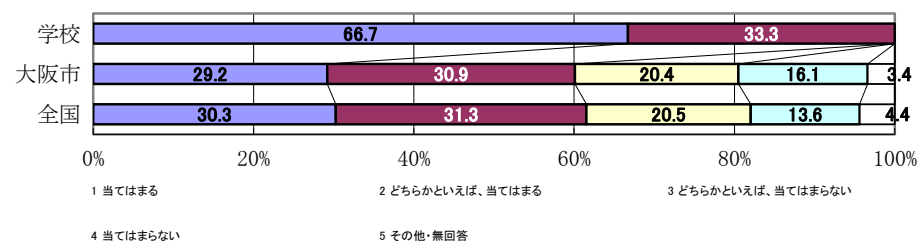
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



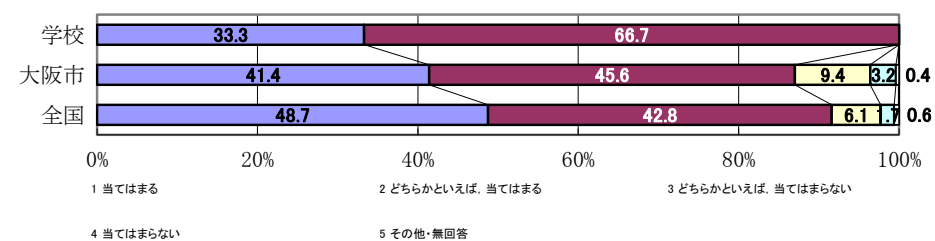
24

読書は好きですか



43

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



令和7年度 長谷川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

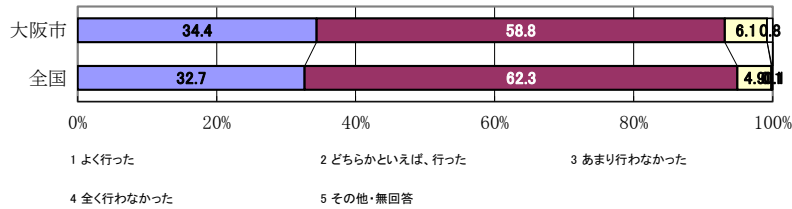
質問番号

質問事項

31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

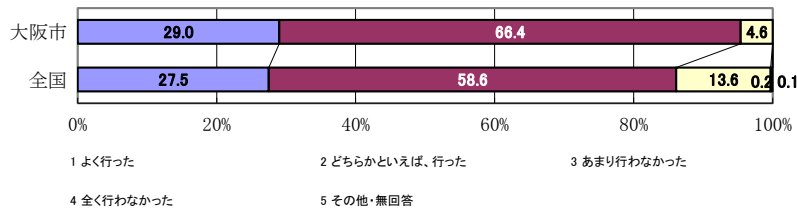
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

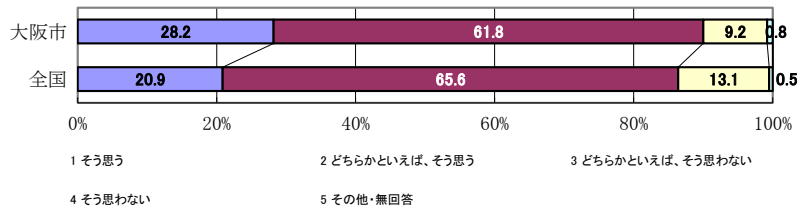
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

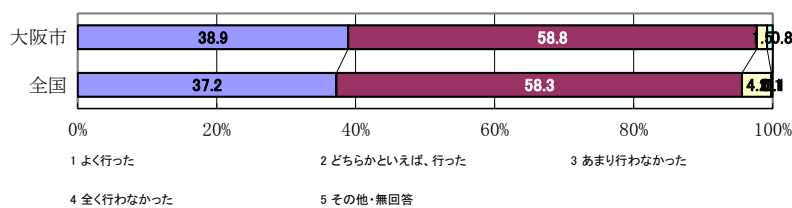
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



44

調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるような指導を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



39

調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

